

令和 5 年度 プログラミング教育推進事業 研究協力校の取組の紹介

「キャッチフレーズ」
各学校の取組を一言で

学校名

①取組の概要：1年間の取組の概要紹介

②メッセージ：

各小学校でプログラミング教育に取り組む
先生方へのメッセージ



ねらいを明確にした実践を

岩国市立東小学校

- ① 本校では、プログラミング教育年間指導計画を基に、プログラミング的思考を育むための実践を行いました。1年生ではアプリを活用してゲームを作る活動を行いました。プログラミング教育の導入の在り方について考える良い事例となりました。また、4年生は図形の作図の手順をカードで示すアンプラグドによる実践を行いました。ねらいや児童の実態によって ICT を活用するかどうか検討する必要があることが改めて分かりました。



- ②プログラミング教育は ICT を活用したり、ゲームを作ったりすることが目的となってしまうがちですが、児童にどんな力を身に付けさせたいのかということを考えることが大事です。ねらいをまず明確にすることから始めると良いと考えます。

プログラミングで試行錯誤を楽しもう！！

田布施町立東田布施小学校

- ①子どもの「積極的にプログラミングを楽しむ姿」や「6つの要素に基づくプログラミング的思考を働かせ試行錯誤する姿」をめざして、学年に応じた授業実践を行いました。



電気の利用
【A.6.理.フィジカル】

もののいち
【A.1.算.アンプラグド】

- ②「プログラミング教育って何だろう？」というところからのスタートで、講師の先生のご指導のもと、授業づくり、教材づくりから全教員で試行錯誤しながら研修を進めていきました。今までの教育活動をプログラミング教育の視点で見つめ直す良い機会となりました。

全学年でプログラミングにチャレンジ！

周南市立遠石小学校

- ① 本校ではプログラミング教育を全ての学年で実施し、それぞれの発達段階に応じた内容を考えることを通して、より良いプログラミング教育の在り方について研究を行いました。



【2年生生活】1年生をお祭りに呼んで、楽しんでもらうための流れを考えましたよ。

【4年算数】忍者が分身の術を使った時、何人になるかすぐにわかるプログラムを考えましたよ。



【6年総合的な学習の時間】「生活に役立つもの」をテーマにプログラムを作り、実際にロボットを動かしましたよ。



- ②「プログラミング教育って実際にはどんなことをするの？」本校職員も始めはそうでした。みんなで取り組めば、楽しく学ぶことができますよ。

児童が豊かに関わり合いながら どの子も参画できるプログラミング学習

山口市立小郡小学校

- ①5年生は、算数科の「円と正多角形」の学習と関連させながらmBot を使って図形の動きをするプログラムと、6年生は micro:bit を使って省エネになる照明器具のプログラムを作成する学習を通して、児童が関わり合い、協力しながらプログラミング的思考を育む授業づくりに取り組みました。

mBot を図形の形に動かそう 電気とわたしたちの暮らし
【A. 5. 総(算), mBot】 【A. 6. 理, micro:bit】



- ②プログラミングと教科の学習がつながることで、プログラミングの良さやプログラミング的思考について学ぶだけでなく、教科の学習への理解も深まります。活動の必要感や目的を明確にし、授業づくりを行うことが大切だと思います。

プログラミング教育で育む児童の主体性

宇部市立二俣瀬小学校

- ①本校では、日常生活における課題を取り上げた学習や、各教科における論理的思考を育む学習において、日頃の学習活動の中の一つの指導法としてアンプラグドプログラミングに取り組んできました。また、低学年では Kamibot、中学年からは、ビジュアル言語として Scratch の活用や、mBot や MESH を活用した、より実践的なプログラミング教育に取り組み、主体的な児童の育成をめざしました。

ならべてうごかそう！ぼくのロボット【A.1・2.学.アンプラグド】



- ②プログラミング教育と聞くと、専門用語や技術が多く、指導が難しいのではないかと感じる先生は多いと思います。しかし実際には、アンプラグドによる指導法を気付かないうちに普通の授業の中でも実践しており、特別な知識は必要ありません。プログラミング教育を全校で取り組む体制づくりが大切だと思います。

みんなでチャレンジ！プログラミング！

下関市立王司小学校

- ①各学年・専科部にプログラミング教育担当者を置き、様々な実践を行い、共有しました。校内研修では、外部講師を招き、プログラミング教育について学びました。市内の先生に向けて、プログラミング的思考を育む授業を提案しました。



あそび名人になろう
【B.2.生.アンプラグド】

学びの博物館をつくろう
【B.5.総.mBot・Scratch】

- ②実践前は、子どもたちにプログラミングを教えることができるのか、不安な面もありました。いざ実践してみると、子どもたちは意欲的にプログラミングに取り組み、教師側も多く学ぶことができました。まずは、無理なく、少しずつでも実践することが大切だと思います。

よりよい日置に!!～地域に役立つロボット～

長門市立日置小学校

- ① 本校は、主体的に学ぶ児童の育成をめざして、研修を進めています。mBot の基本的な動かし方を学んだ後に、自分たちの身近にある課題を見付けて、それらの課題についてアプローチをしていく実践を行いました。地域の身近な課題からアプローチすることで、児童は課題を自分事としてとらえ、「よりよい日置のために役立てたい」と主体的に取り組めました。

地域に役立つロボット

地域に役立つロボット

【B.6.総.mBot】

【B.3.総.mBot】



- ②mBot に触れることで、児童同士の関わりが増えました。トライ＆エラーを繰り返しながら、協働して取り組み、プログラミング的思考や仲間と共に学ぶ楽しさを高めることができました。